



将来ビジョン

1. 目指すまちの将来像
2. 将来の人口フレーム
3. 将来像を実現するための5つの基本目標
4. 施策の体系
5. 将来像の実現に向けた「協働のまちづくり」の推進
6. 重点テーマ

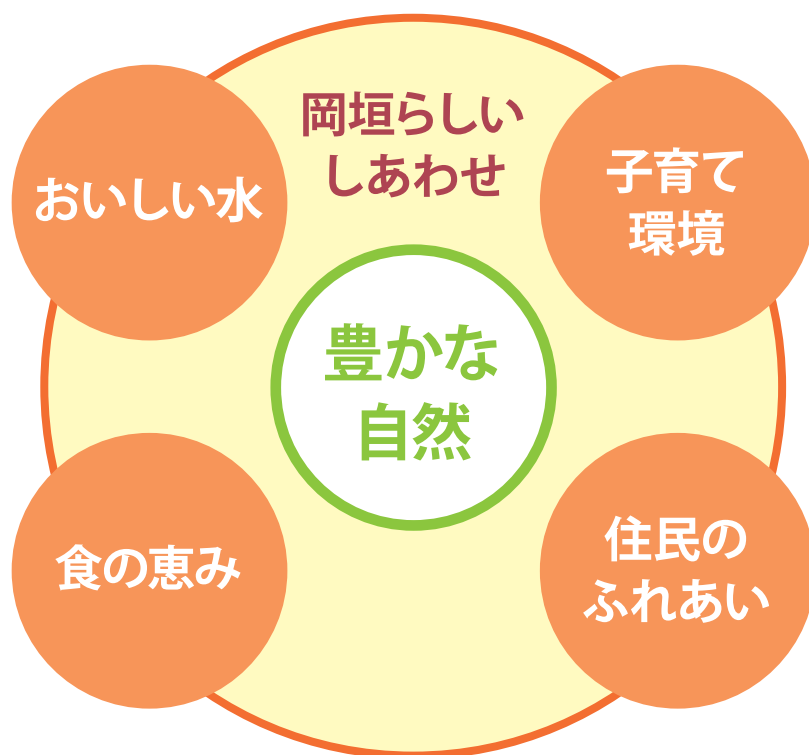
1. 目指すまちの将来像

本町は、豊かな自然環境に恵まれています。この環境は、住民が住みやすいと感じる町の魅力となっており、町への愛着の形成にもつながっています。

この豊かな自然によりもたらされたおいしい水、食の恵み、子育て環境、住民のふれあいなどがある暮らしは、「岡垣らしい しあわせ」と言えます。

人口減少に対応した持続可能なまちづくりへの転換が求められる中であっても、将来にわたり「岡垣らしい しあわせ」を守り育てることが必要です。

本計画では、この自然と共生した暮らしを守り育て、住民一人ひとりがしあわせを実感できる町を目指し、まちの将来像を「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」と設定します。



将来像

自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣



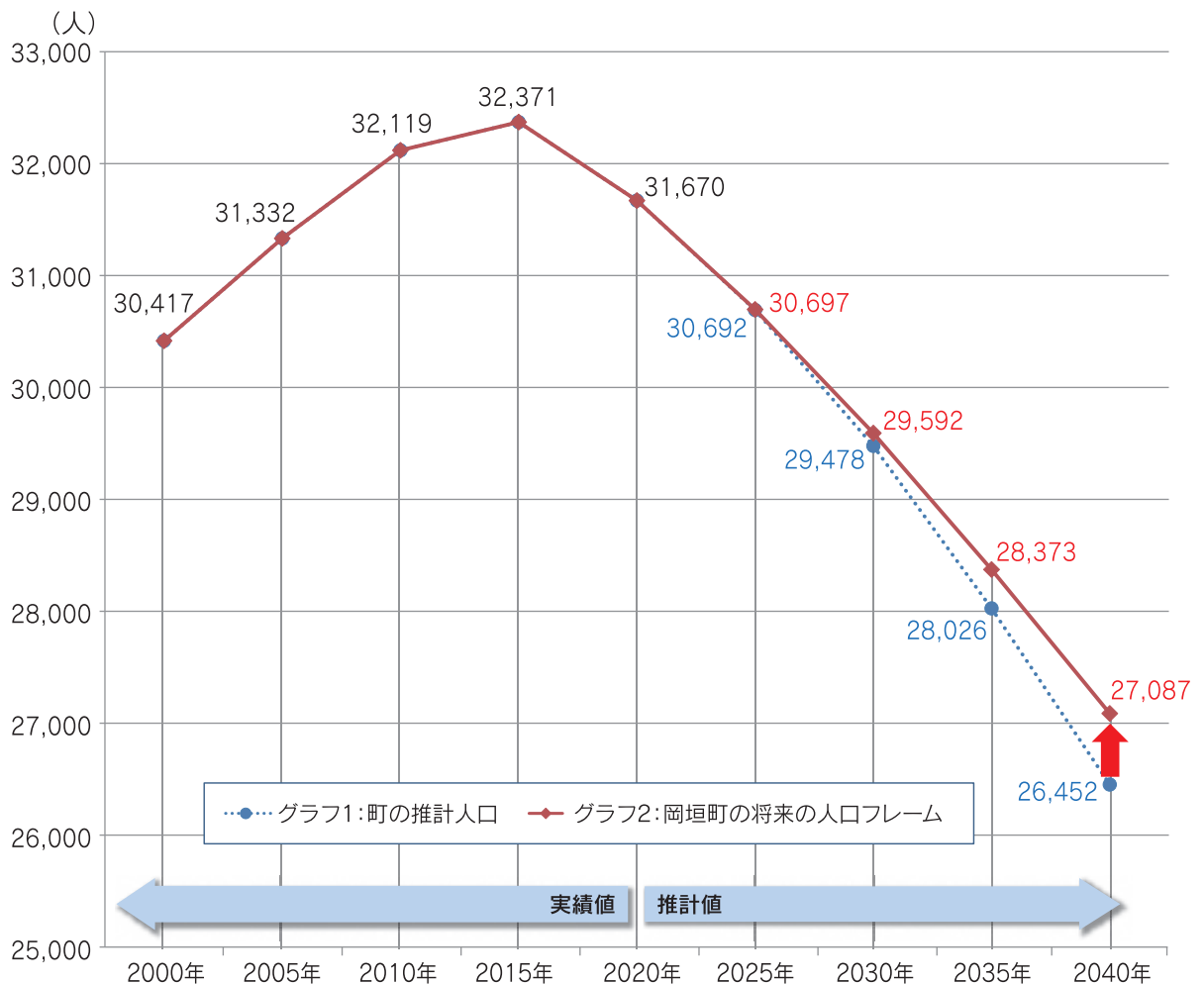
2. 将来の人口フレーム

本町の将来人口を推計すると、下図のグラフ 1 に示すように、2020 (令和2) 年の人口31,670人と比較し、10年後の2030 (令和12) 年には3万人を下回る見込みです。

また、20年後の2040 (令和22) 年には約26,000人まで減少するなど、国の将来人口推計の傾向と同様に、人口減少が進むこととなります。

本計画では、これからの人口減少社会を見据えた持続可能なまちを目指し、あらゆる施策を着実に実行することで、町への転入の促進や出生率の向上を図り、20年後の2040 (令和22) 年に27,000人を達成できる人口フレーム (グラフ2) を目標とします。

■本町の将来人口推計



※2010年までは国勢調査人口、2015年と2020年は住民基本台帳に基づく実績値
2025年以降は住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計値
国勢調査人口は10月1日現在。住民基本台帳人口は3月末。

(コーホート変化率法による推計)

コーホート変化率法とは、コーホート(集団)ごとの5年間の人口増減を変化率としてとらえ、その率が将来も大きく変化しないものとして推計する方法です。0~4歳の人口は、15~49歳の女性人口との比率により推計しています。

3. 将来像を実現するための5つの基本目標

本計画では、まちの将来像を実現するために5つの基本目標を定めています。

基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち

●自然環境

住民にとって住みやすさの要因である豊かな自然を保全し、活かしていくため、住民・団体・企業などとの交流・連携により、自然を守る活動を広げていきます。

●生活環境

おいしい地下水を守るとともに、ごみの減量化や生活環境の保全活動を促進します。

●地球環境

省エネ対策や再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化対策に取り組みます。



基本目標2 地域資源を活かし発展するまち

●農漁業

町の自然環境の中で育った様々な農水産物を持続的に安定供給するため、生産基盤の維持や経営者への支援、後継者の育成に取り組みます。

●商工業

地域の雇用を支える商工業を育成するため、経営支援を行うとともに、新たな企業の誘致や起業・創業の支援などに取り組みます。

●観光

自然や食などの地域資源を活かした観光交流を拡大するとともに、町の魅力を効果的に伝えるため、ターゲットに応じた情報発信を強化します。





基本目標3 人・つながりが育つまち

●子育て・教育

安心して子どもを産み・育てられるよう、妊娠から出産、育児まで切れ目のない子育て支援や保育環境の充実を図るほか、子どもが社会で生き抜く力とふるさとへの愛着を育む学校教育を推進します。



●生涯学習・スポーツ・交流

地域社会の活性化を図るとともに、住民が豊かな人生を送ることができるよう、文化活動やスポーツなどの生涯学習を推進します。また、地域活動を通じた交流を促進し、まちづくりの輪を広げます。



基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

●健康づくり

住民の健康管理・健康増進の意識を高め、地域での健康づくり活動に参加しやすいよう、健康づくりの輪を広げます。

●地域福祉・高齢者福祉・障害福祉

子どもから高齢者までお互いさまの心で支えあうネットワークの充実を図ります。また、高齢者や障害のある人などへの暮らしにおける福祉環境の充実を図るとともに、誰もが地域の様々な場面で活躍し、働きがいや生きがいが生まれる機会を提供します。



●人権

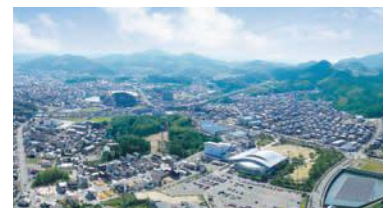
互いの人権を尊重し、ともに認めあい個性が発揮できるまちづくりを推進します。



基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち

●都市基盤

持続可能な都市づくりを推進するため、定住促進や企業進出を見据えた道路ネットワークの整備、駅周辺の活性化、便利な公共交通の整備などにより、都市の利便性の向上を図ります。



●防災

大規模な自然災害に備え、災害に強い基盤づくりを推進するとともに、自助・共助による防災活動を促進します。

●地域の安全

犯罪を抑止するための環境を整備するとともに、地域での防犯活動を支援するなど、地域の犯罪を抑止する取組を促進します。



4. 施策の体系





施策

(1) 三里松原と美しい海岸を守ります (2) 豊かな緑と清らかな河川を守ります (3) 多様な生物が生息する環境を保護します
(4) 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます

(1) おいしい水を安定して供給します (2) 生活排水をきれいに処理します (3) ごみの減量化・再資源化を推進します
(4) 生活の環境悪化を防止します (5) 美しい都市景観をつくります

(1) 一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します (2) 環境にやさしいエネルギーの導入を進めます

(1) 農業・漁業の生産基盤を守ります (2) 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します
(3) 地産地消に取り組みます

(1) 商工業者の経営を支援します (2) 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます

(1) 町の魅力を活かした観光商品を開発します (2) 町の魅力ある観光情報を発信します

(1) 安心して子育てができる環境をつくります (2) 母子の健康づくりを支援します

(1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します (2) 地域特性を活かした学校教育を推進します
(3) 安全で快適な教育環境を整備します (4) 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます

(1) 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります (2) 住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます
(3) 郷土の歴史・文化を育むまちをつくります

(1) 住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます (2) 感染症を予防します
(3) 安心して医療が受けられる環境を整えます

(1) みんながつながるお互いさまの地域をつくります (2) 高齢者の暮らしを支える福祉環境をつくります
(3) 障害のある人の暮らしと自立を支援します

(1) 互いに支えあい、人権を尊重するまちをつくります
(2) 相談体制を強化し、DVや虐待被害者に寄り添い、支援します

(1) 都市の再生に向けた土地利用を進めます (2) 新しい公共交通体系を構築します
(3) 定住を促進するための支援に取り組みます (4) 海老津駅周辺の活性化に取り組みます

(1) 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります (2) 安全で快適な道路・橋梁を整備します
(3) 地域が求める公園づくりを進めます

(1) 計画的に災害対策を強化します (2) 災害に強いインフラを整備します (3) 自助・共助による防災活動を促進します

(1) 地域の犯罪を抑止します (2) 交通事故から運転者・歩行者などを守ります (3) 消費生活問題に対応します

(1) 地域のコミュニティ活動を促進します (2) 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します

(1) 社会変化に対応できる組織をつくります (2) 将来を見据えた計画的な行財政運営を推進します
(3) 町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります (4) 住民の意見をまちづくりに取り入れます

5. 将来像の実現に向けた「協働のまちづくり」の推進

(1) 岡垣町の協働のまちづくり

本町では、行政が責任と主体性を持って行う公的サービスや活動支援などの取組のほか、自治区や校区コミュニティ、各分野の団体と行政による協働のまちづくりを進めてきました。今回実施したアンケートでは「まちづくり活動を行っている人への感謝度」が県内でも高くなっており、これまでのコミュニティ活動やボランティア活動などが、住民のニーズを捉えた成果の表れであるといえます。

目指す将来像

自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣



将来像を実現するためのまちづくりの基本目標

基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち

基本目標2 地域資源を活かし発展するまち

基本目標3 人・つながりが育つまち

基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち



基本目標を達成する手段の一つとして「協働のまちづくり」

協働のまちづくりの領域

	住民一人ひとりの取組、家族の支えあい	近隣住民など身近な人による助け合い・支えあい	自治区やまちづくり団体などの地域における組織的な助け合い・支えあい	行政運営に関わる住民参画	公的に必要なサービスの提供
主体	住民・家族	地域(自治区・校区コミュニティ・ボランティア・団体・企業など)、町外者など		行政・関係機関	
具体例	・健康管理 ・災害への備え	・声掛け・見守り ・地域の清掃活動	・ボランティア活動 ・コミュニティ活動	・審議会などの参加 ・パブリックコメント	・道路などのインフラ整備



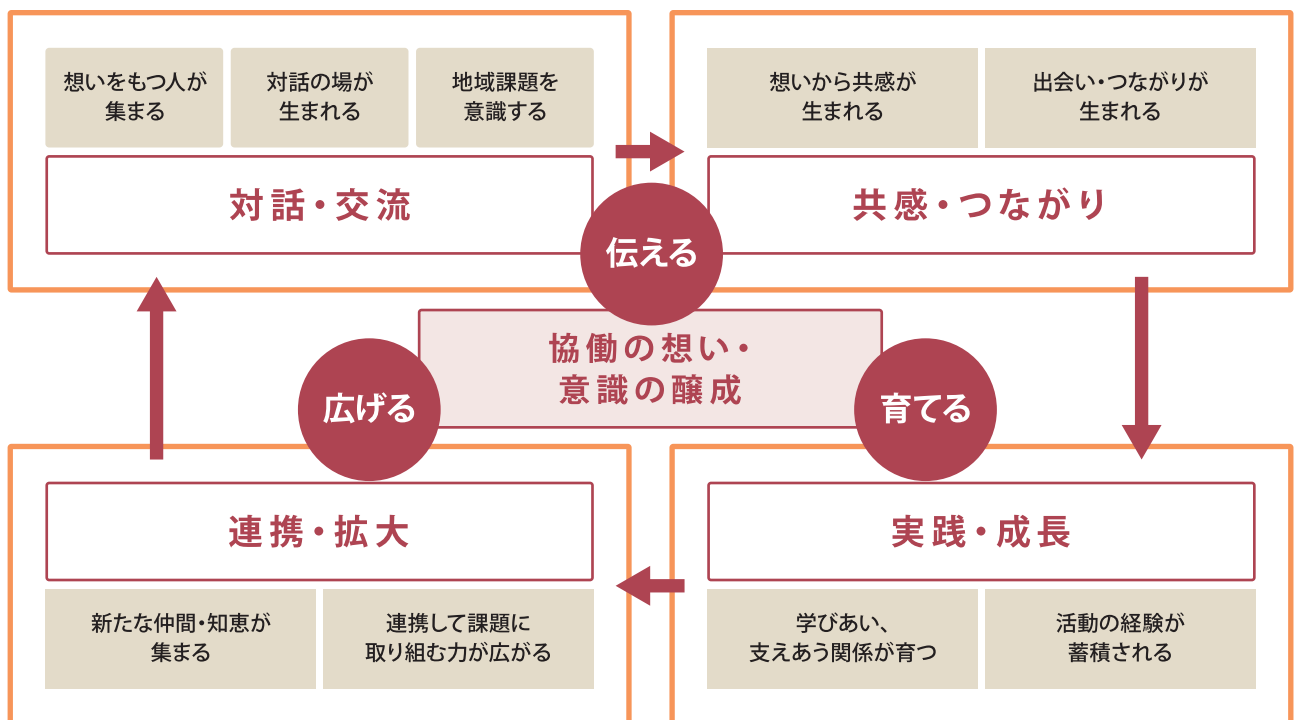
(2) これからの“協働のまちづくり”の基本方針

近年、自治区加入率は減少しており、人口減少や高齢化が更に進むことで、活動の担い手が不足し、従来から行われてきた活動が衰退してしまう懸念があります。

本計画では、今までの協働のまちづくりで培われたまちづくりの輪を基本に、「伝える・育てる・広げる」をキーワードとし、住民・団体・企業・行政において協働の輪を広げ、郷土愛が生まれる好循環をつくります。

これまでまちづくりに参画する機会がなかった住民や企業、町外の人たちを巻き込み、「対話・交流」「共感・つながり」「実践・成長」「連携・拡大」を生むことで、まちづくりの輪を広げます。なお、協働のまちづくりの推進における取組の向上を図るため、進捗状況などを毎年度確認します。

■「伝える・育てる・広げる」ことにより生まれる好循環



■好循環を生むための各主体の役割

住民・企業 (町外者・町外企業などを含む)	○コミュニティの活動やボランティアなど、まちづくり活動への参加に努めます。
関係団体 コミュニティ・学校	○郷土の良さを活かすなど、まちづくりの活性化につながる活動に取り組みます。 ○団体間や企業などとの連携を図り、まちづくり活動を広げます。
行政	○まちづくりに関わる関係団体などを支援するとともに、団体間が交流する機会をつくります。 ○学習する機会をつくり、まちづくりにつなげます。 ○まちづくり関連の情報を SNS など、様々な媒体を活用し、町内外に発信します。

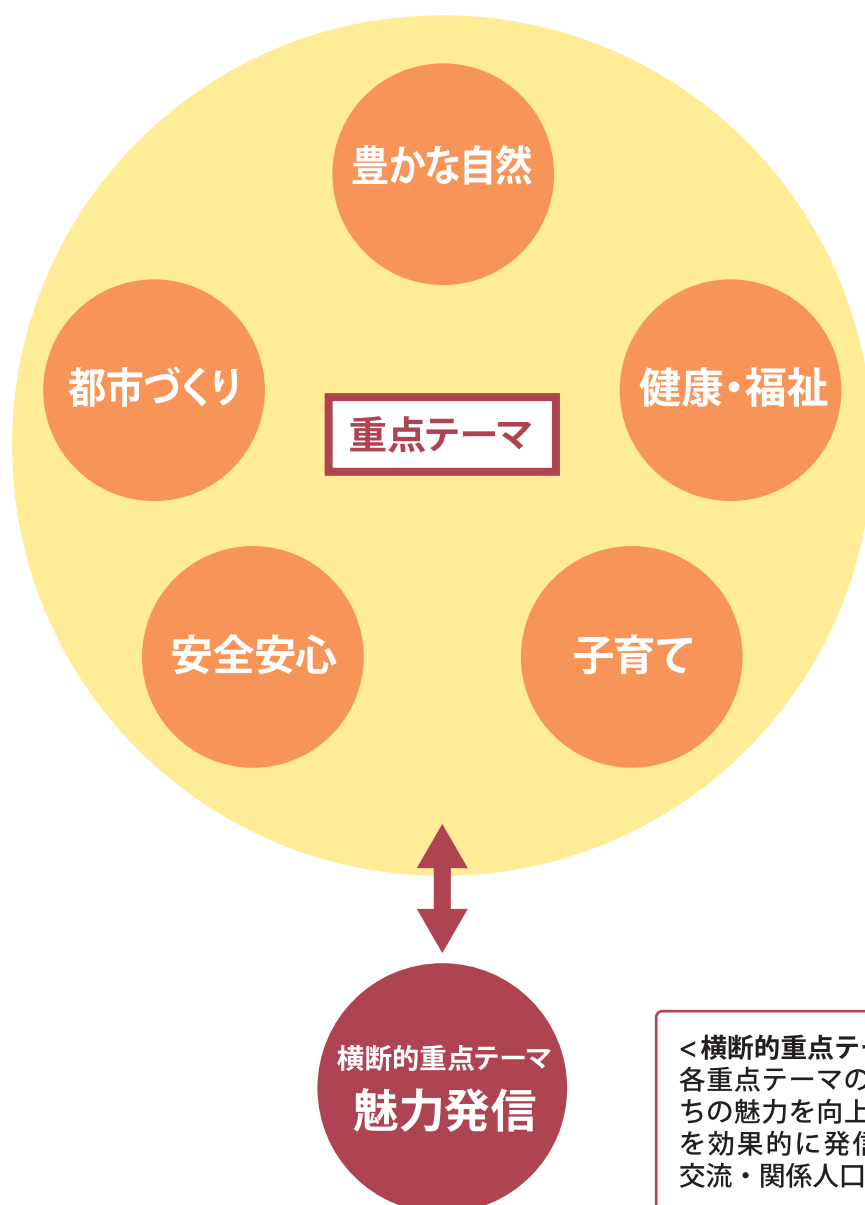
6. 重点テーマ

本計画では、将来像を実現するため、個別の施策を進めるだけでなく、関連する施策をまとめたものを重点テーマとして設定し、効果的に施策を推進します。

(1) 重点テーマに関連する施策の設定について

重点テーマに関連する施策については、以下の2つの視点から設定しています。

- 人口減少や少子高齢化の進行に対応するため、優先的に取り組みが必要な施策
- 住民アンケートなどにより、住民の関心やニーズが高い施策





(2) 重点テーマ・関連する施策

	テーマの方針／関連施策(該当ページ)
豊かな自然	<p>町の魅力となっている三里松原などの自然環境や自然の恵みである農水産物を守り、育てます。また、自然や地域資源を活かした体験型観光などの推進に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三里松原と美しい海岸を守ります (P.35) ●おいしい水を安定して供給します (P.37) ●農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します (P.41) ●町の魅力を活かした観光商品を開発します (P.45)
子育て	<p>安心して子育てができるよう、妊娠期から出産、育児まで切れ目のない子育て支援に取り組みます。また、グローバル化や情報化が進む中、新たな時代に必要な能力を育む教育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安心して子育てができる環境をつくれます (P.47) ●確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します (P.49) ●家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます (P.49)
健康・福祉	<p>住民が健康に暮らせるよう、多くの住民が身近な地域で健康づくり活動に参加できる環境づくりに取り組みます。また、孤独死や引きこもりなどを未然に防ぐため、様々な関係団体と連携し、見守り活動の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます (P.51) ●住民の健康づくりを支援し、健康意識を高めます (P.53) ●みんながつながるお互いさまの地域をつくれます (P.55)
都市づくり	<p>持続可能な都市を目指し、都市計画マスタープランに基づく取組の他、企業誘致を見据えた道路ネットワークの整備、海老津駅周辺の活性化や便利な公共交通体系の整備などによる都市の利便性の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市の再生に向けた土地利用を進めます (P.59) ●新しい公共交通体系を構築します (P.59) ●海老津駅周辺の活性化に取り組みます (P.59) ●利便性の高い道路交通ネットワークをつくれます (P.61)

将来ビジョン



	テーマの方針／関連施策(該当ページ)
安全安心	<p>頻発する風水害などの自然災害から住民の生命・財産を守るため、防災基盤の整備や自主防災組織の活動支援、官民連携による避難対策などに取り組みます。また、防犯環境の整備を進めるとともに、防犯パトロールへの支援など、地域の犯罪を抑止する取組を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none">●災害に強いインフラを整備します(P.63)●自助・共助による防災活動を促進します(P.63)●地域の犯罪を抑止します(P.65)
魅力発信 <small>横断的重点テーマ</small>	<p>三里松原などの豊かな自然、子育て環境、身近な地域での支えあい、安全安心に向けた取組、都市の利便性などの町の魅力を町内外にPRし、定住人口の増加を図ります。また、町の魅力ある観光資源をPRし、観光客をはじめ、交流・関係人口などの増加につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none">●町の魅力を発信し、定住・交流・関係人口などの増加を図ります(P.69)